

一期一会

十四山西部小学校
第6学年
令和5年3月17日(金)
最終号

ご卒業おめでとうございます！



いよいよ次の登校日が卒業式となりました。巣立ちの会以降、6年生を送る会、お楽しみ給食、奉仕作業と6年生ならではのイベントが続き、学校中が卒業を祝う雰囲気になっています。しかし私自身は、子どもたちの巣立ちを喜ぶ気持ちよりも、子どもたちとの別れの日が近づいている寂しさの方が勝っていました。体育館で卒業式の練習を始めてからは、日に日にうまくなっていく卒業証書の受け取り方を見たり、旅立ちの言葉を聞いたりしながらも、教室では、他愛のない話題でわいわい楽しそうに談笑する子どもたちの様子に、この期間がずっと続くといいのにと思わずにはいられませんでした。卒業式を3日後に控え、今は子どもたちの門出を全力で祝福しようと思っています。

運動会・修学旅行をはじめとする大きな行事は無事に行うことができ、日々の生活でも、一人一人が最高学年としての自覚と責任をもって自分の役割を果たしました。当日は、堂々と胸を張って卒業証書を受け取る姿を見ていただけたと思います。子どもたちと出会い、4年生、6年生と2年間、子どもたちの成長を見届けることができたことに感謝するとともに、これまでたくさんのご理解とご協力をいただいた保護者の皆様に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。20日の卒業式もどうぞよろしくお願いいたします。

～お知らせとお願い～



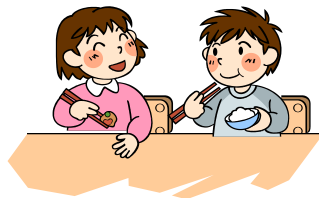
● 6年生を送る会がありました

十西小だよりでもお知らせしたとおり、3月3日(金)に全校児童が体育館に会して「6年生を送る会」が行われました。1年生から5年生が、それぞれ出し物を披露して、6年生の卒業をお祝いしました。始めは少し緊張した様子だった6年生でしたが、だんだん緊張もほぐれ、会を楽しむ様子が見られました。会の中で6年生は、メッセージの入ったしおりを全校児童にプレゼントをしました。また、在校生からは、一年間、共に活動した縦割り班のメンバーから色紙のプレゼントをいただきました。教室に戻った後、色紙を読んで涙している子もいました。



● お楽しみ給食でおなかいっぱい

3月10日（金）には6年生の卒業のお祝いに「お楽しみ給食」として、6年生だけのスペシャルメニューが加わった豪華給食を音楽室でいただきました。たくさんあって、食べきれるか心配をしていましたが、きれいに完食しました。



● 奉仕作業がんばりました

3月10日（金）の5・6時間目に奉仕作業に取り組みました。6年間お世話になった校舎に感謝の気持ちを込めて、音楽室・図書室のワックスがけとトイレ掃除・運動場の側溝掃除をしました。子どもたちの一生懸命に取り組む姿に、卒業に向けての意識の高まりを感じました。



● 卒業式後の生活について

20日の卒業式後は中学校の入学式まで少し長めの春休みになります。子どもたちは、通学団や委員会をはじめ、最高学年としての役割と責任を果たすべく頑張ってきました。また、2学期以降は行事続きで忙しい日々を過ごしてきました。そこで、この休みは少しゆったりと過ごしていただくとともに、中学校への準備期間として、時間を有効に使ってほしいと思います。また、卒業したという解放感から、気持ちも緩みがちになります。事故やケガなどをしないよう、また、体調を崩さないようご家庭でも声かけをお願いします。引き続き新型コロナウイルスの感染予防にもご配慮ください。万が一、休み中に新型コロナウイルス感染症の陽性が判明した場合、3月中は小学校に、4月1日以降は進学先にご連絡ください。

皆が笑顔で中学校の入学式を迎えられるようお祈りするとともに、
子どもたちの更なる活躍を楽しみにしています！
今までありがとうございました！

